

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

エコロジーハウス 山形

グループの名称

エコロジーハウス 山形研究会

直近採択グループ番号

04-0720-0124

(グループ代表者)

代表者名

落合 将寛

代表者印

代表者所属先

株式会社ヤマメイ

代表者所在地

山形県東根市六田字楯ノ越763-2

代表者電話番号

0237-43-0303

(グループ事務局)

事務局事業者名

立花産業株式会社

事務局担当者名

金内 貴樹

印

事務局郵便番号

998-0072

事務局所在地

山形県酒田市北浜町4-7

事務局電話番号

0234-33-2333

事務局FAX

0234-33-2338

事務局担当者E-mail

t-kanauchi@tachibanasangyo.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	エコロジーハウス 山形
2. グループの名称(必須)	エコロジーハウス 山形研究会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0720-0124
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	山形県
5. 結成年(必須)	2016 年
6. グループ代表者名(必須)	落合 将寛
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社ヤマメイ
8. グループ代表者所在地(必須)	山形県東根市六田字桶ノ越763-2
9. グループ代表者電話番号(必須)	0237-43-0303
10. グループ事務局事業者名(必須)	立花産業株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	金内 貴樹
12. グループ事務局郵便番号(必須)	998-0072
13. グループ事務局所在地(必須)	山形県酒田市北浜町4-7
14. グループ事務局電話番号(必須)	0234-33-2333
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0234-33-2338
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	t-kanauchi@tachibanasangyo.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	
II. 製材・集成材製造・合板製造	3	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	
IV. プレカット	2	
V. 設計	9	
VI. 施工	9	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	山形県産材	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度	1	国内
	山形県産材	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度のうち山形県産集成材	1	国内
	宮城県産材	宮城県	合法木材証明制度	3	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	1. 長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅の適合証、またはゼロ・エネルギー住宅のBELS評価書交付済みの住宅 2. 1のそれぞれ審査中の住宅 3. 工事請負契約済みの住宅 4. その他の住宅						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) エコロジーハウス 山形	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) エコロジーハウス 山形研究会	(結成年) 2016 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0720-0124	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	山形県、特に内陸部は夏と冬で気温差が大きい地域となっている。さらに山間部も多く、冬は積雪が多く夏季には大雨になることもある。そのような厳しい気候条件にある地域のため、平成28年省エネルギー基準に対応した住宅に取り組む。また全棟で一次エネルギー消費量計算を実施することで、住宅の省エネ性能の向上とグループの構成員の省エネ意識の向上を図る。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	全国的に地震が多発しており、住まい手の意識も住宅そのものの耐震性のみならず、地盤に至るまでに高まっている。そのため、全棟で地盤調査を実施し、住まい手が安心して暮らせるような工夫を行う。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	対象地域は多雪地域になるため、設計段階で雪対策を考慮した建物デザインとする。また緑豊かな山形県の地域型住宅として、地域材である山形県産材を主要構造材の柱・梁・桁に優先的に使用する。	◎
④①～③の背景	山形県内陸部は、周りを山々に囲まれた盆地地域のため、夏は暑く冬は寒く寒暖の差が激しい。さらに山間部も多いため、豪雪地帯にもなっている。そのため、夏冬の光熱費や、冬の除雪作業は、住まい手の大きな負担になっている。また、山形県では「やまがたの木」認証制度があり、県産材仕様による利子補給や補助金の制度がある。それを住まい手へのメリットとして還元し、同時に構造材に使われる杉の産地として、山形県が森林資源に恵まれ自然豊かな地域であることのPRを図る。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ゼロ・エネルギー住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅の高度省エネ化住宅の場合でも、長期優良住宅化に資する措置のうち、耐震等級2以上、劣化対策等級3、維持管理対策等級3(いずれもグループ構成員による自己評価)のいずれか1つ以上に取り組む。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 設計モジュールは尺モジュールを基本とし、構造柱である4寸柱や3.5寸柱は在庫として確保し、スムーズな納材を行う。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 高性能断熱材・高性能サッシ・高性能設備のパッケージ化を行い、コストダウンと同時に、グループとして提供する地域型住宅の省エネ性能の向上を図る。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 商品の写真や性能の数値、メーカーや品番などを標準仕様として設定し、住まい手に対して、魅力的かつ分かりやすい地域型住宅のプレゼンテーションを行う。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 標準仕様のパッケージ化を行うことで、共通の高性能建材・設備の導入を図り、メーカーからの特価購入でコストダウンを行い、それを住まい手に還元する。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 標準仕様のパッケージ化を行うことで、共通の高性能建材・設備の導入を図り、原木供給・製材・設計・施工事業者と連携して、安定した供給を行う。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 生産の合理化に向けて、検討委員会を設置し、検討を行う。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が各業者間に立って、地域型住宅の標準仕様・基準ルールや住宅情報の共有を行う。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー技術講習会(施工編)の学習内容をもとに、施工方法の現場レベルでの周知徹底を図り、断熱・気密に優れた施工に取り組む。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: インспекションの資格取得者による現場検査を行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見積書を明細を「一式」表示ではなく内訳を明示することで、透明性の高い住まい手にも分かりやすい見積書を作成する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい手に向けて、地域型住宅(長寿命型・高度省エネ型とも)におけるメリットの情報を発信し、住まい手から構成員に向けた信頼感の向上を図る。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	事務局は、未経験工務店による地域型住宅の取り組みを推奨するために、長期優良住宅・認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅の認定申請のサポート、ゼロ・エネルギー住宅のBELS評価書取得のサポート、また、それに関わるプランニングのアドバイスを行う。さらにBELSを取得したことがない施工構成員のBELS取得を推奨し、それをサポートする。2020年に向けて、施工構成員の全社が「BELS工務店」となるよう働きかける。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) エコロジーハウス 山形	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) エコロジーハウス 山形研究会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0720-0124	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡し後30年後までの維持管理計画書を作成し実施する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報管理会社による住宅履歴情報蓄積サービスを活用する。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ID管理により履歴情報を容易に確認できるようにする。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検の際に、使用部材のマニュアルに応じた定期点検を行う。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検の際に、使用部材のマニュアルに応じた補修を行う。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報蓄積サービスを活用し、点検補修の確認を行う。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい手向けイベントで勉強会を実施し、自身での軽微なメンテナンスを促す。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい手向けイベントでDIY体験会を実施し、自身での軽微なメンテナンスを促す。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい手向けイベントで、相談会を実施する。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 委員会を設置し、性能や施工とともに、維持管理方法についても検討する。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工務店は住まい手に維持管理方法を説明書をもとに説明する。	◎
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心にグループの構成員から代替業者の紹介を行い、住まい手にも十分な説明を行う。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅瑕疵担保責任保険法人から講師を招き、勉強会を実施する。	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 定期点検を行うことで、住まい手にも工務店にもメリットがあることを理解し、維持保全計画に基づいた適切な点検が行われるように、工務店向けの勉強会を開催する。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の施工技術講習会を開催する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー技術講習会(施工編)のテキストに基づく施工を行う。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 委員会で対象住宅についての確認を行う。	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の建設推進のために標準仕様・基準ルールの徹底を図る。	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 委員会を中心に、新製品・新技術の積極的な導入を図り、技術力の向上を目指す。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 物件情報の基本情報を共有する仕組みを構築することを検討する。	◎
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 5 施工事業者社員の達成率を50%以上とする。	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 5 請負技能者等の達成率50%以上を目指す。	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で未受講者を把握し、パンフレットやWEBページを紹介し、参加を促す。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外皮強化型のグループ基準を検討する。	◎
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 将来的に新技術開発をできるように土台づくりを行う。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 各構成員が、住宅省エネルギー技術講習会(設計編)を受講し、現在の自社の標準仕様の省エネ性能がどれほどのものなのかを理解する。それによって住まい手にも具体的かつ説得力のある説明・提案を行うことができるようになる。また、できるだけ多くの構成員が外皮計算、一次エネルギー消費量計算を自社で行うことができるようになる。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) エコロジーハウス 山形	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) エコロジーハウス 山形研究会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0720-0124	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

住宅種別	長期優良住宅	ゼロ・エネルギー住宅	認定低炭素住宅	性能向上計画認定住宅
追加措置	一次エネルギー消費量計算 ※1	長期優良住宅化に資する下記措置のうち、いずれか1つ以上に取り組む		
		・耐震等級2以上 ※2 ・劣化対策等級3 ※2 ・維持管理対策等級3 ※2		
	地盤調査の実施 メンテナンス計画書の作成			
地域型住宅	本会が定める「地域型住宅」とする			
			※1 構成員または事務局による自己評価	
			※2 構成員による自己評価	